

# 和地域づくりの会 会報

## 第14号

発行：和地域づくりの会  
和コミュニティセンター内  
東御市和 2628  
TEL/FAX：62-0201  
印刷：あさま印刷

和地域づくりの会が  
目指す  
和地区の将来像

- ◆ 若者や子育てしている世代が幸せを感じられる地区  
若者が定住し、結婚・出産・子育てがしやすいまちづくりを目指します
- ◆ 観光と農業・農村が共存共栄できる地区  
農業や景観などの地域資源を活用したまちづくりを目指します
- ◆ 多様な世代が運営を支え、郷土愛を持てる地区  
伝統行事、近所づきあい、支え合いが盛んなまちづくりを目指します



今年の干支『龍』  
(生涯学習講座講師：高橋麦宇さん書)

◎新しい年に願いを込めて…  
日頃より和地域づくりの会の諸活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深甚なる感謝とお礼を申し上げます。

この数年来、新型コロナウイルス感染症に伴う自粛と制約を強いられる生活が続き、「コロナからの脱却」と、「当たり前」の日常を取り戻すことが叫ばれてきましたが、ようやくその兆しが見えてきた気がいたします。

**和地域づくりの会**  
会長 田中節夫

そんな中、昨年和地域では幾つもの新たな活動・取り組みが始まりました。

一つ目は、移住・定住の促進を目的とした移住体験交流施設「102」がオープンしました。生活福祉部会を中心に、市と連携しながら活用や移住者との交流事業に取り組んでいます。

二つ目は、児玉山に着目して、新たに里山整備プロジェクトを立ち上げました。地域おこし協力隊の波多江淳子さんを専属の事務局にお迎えし、地域振興部会だけでなく、地域づくりの会全体で、複数年掛けての取り組みになります。活動の詳細に関しては、本号(4ページ)で特集したほか、今後も逐次お知らせしていきたいと思っております。

更に、和地域の原点であり象徴ともいえる旧和和学校記念館のあり方に関して、子育て・教育文化部会を中心に検討を始めました。

いずれも和地域にある大事な「宝」であり、先人が連続と受け継いだそれらを守り育んでいくことが、新しい年の私たちに課せられた命題と心得ております。

一丸となって上記の「和地区の



将来像」目指して頑張りました。結びに、皆様方におかれましては、時節柄余寒なお厳しき折、ご自愛のほどご祈念申し上げます。

《地域づくり懇談会》  
10月23日、地域づくりの会役員、区長会等多数参集のもと、「地域づくり懇談会」が開催されました。

当日は、地域ビジョン実現のための地区からの要望として、昨年に続き

- ① 移住体験施設の利活用
- ② 児玉山遊歩道整備
- ③ 旧和和学校記念館周辺の整備事業

の三つのテーマに沿った、入念な懇談が行われました。

# 児玉山プロジェクト本格始動!

## 和地区里山整備プロジェクトチーム

事務局 波多江 淳子  
(地域おこし協力隊)

### 令和5年度 和地区里山整備プロジェクトチーム

事務局	委員	委員	委員	委員	委員	記録係	記録係	会計	副会長	会長	役員
波多江 淳子	宮下 聡	荒木 和男	田中 三千代	中村 至	横山 榮二	竹内 不二夫	塩崎 和男	庄村 茂	山岸 公宣	田中 節夫	氏名
曾根	和小学校長	東上田 沢	東深井 根	大川	東上田	東入	海善寺	田沢	区名		

東御市地域おこし協力隊として2023年9月から着任し、児玉山担当、和地域中心に活動を開始しました。兼ねてより地域の皆さんで計画していただいていた児玉山遊歩道整備ですが、長野県森林税活用による「県民協働による里山整備・利用事業補助金」を活用することになりました。そのために、和地域づくりの会の中から「和地区里山整備プロジェクトチーム」が発足、11月1日に設立総会が行われ、11月21日に里山整備利用地域に認定されました。



和地区里山整備プロジェクトチームの設立総会(10月)

令和5年度(11月～6年3月)は111万円の補助金を受けました。駐車場・遊歩道整備のための重機リースや砕石代、傷害保険料、ヘルメットやノコギリ、チェーンソー、燃料代などに活用します。地域の皆さんには児玉山散策や会議などを通して、児玉山の活用方法など度々ご相談させていただいていますが、地域の子どもたちにも、もっと身近なものになってもらいたく、10月5日に和小学校4年生向けに児玉山のことをお話しする機会をいただきました。

児玉山に登ったことがない子がほとんどでしたが、児玉山に興味を持ち、どういった山にしたいか、どんな



児玉山 山頂にて。下山後は手作りのおやきをいただきながら意見交換(9月)

ことをしたいか、アイデアを出し合い、里山づくりを一緒に取り組んでいきたいと言ってくれました。

和小学校4年生の児玉山の初登山が11月8日にいよいよ開催されました! 体力がなく登れない子もいるだろう、という予想を覆し、全員無事登りきる事ができました。

盛り切った達成感を味わい、自然の中で遊びを作り出し思い思いに遊びだす姿はとてもイキイキとしており、担任の先生もその生徒たちの様子に驚くほどでした。ゲームやおもちゃなどありふれている現代だからこそ、自然の中での体験は子どもたちの心を動かすのかもしれない。12月14日に県から補助金交付決定され、児玉山の駐車場と遊歩道整備が本格的にスタートしました。寒い中、朝8時からの開始にも関わらず、プロジェクトチームと地域振興部会の中から12月18日は16名、19日は14名に参加していただきました。寒い季節ではありますが、山の木々が落葉し見通しが良い今(冬)の時期にできるだけ整備を



地域の皆さんのサポートのおかげで事故なく安全に和小学校から児玉山に出来ました。(11月)

進めていきたいと思っております。

12月21日には和小学校4年生と児玉山プロジェクトワークショップを行い、県の林務課の方から森林税について、田中会長からは地域づくりの会の児玉山整備についてお話ししていただきました。

今後は、和小学校生徒の林業体験をはじめ、子ども・親子向けの里山探検、森林セラピーやポールウォーキング等、地域の皆さんはもちろん、移住検討者や来訪者向けにも、児玉山ならではのイベントを開催し、関係人口を増やしていきたいと考えています。

これからも皆さんのお力とお知恵を借りながら児玉山を盛り上げられたらと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

**編集後記**  
会報第14号が発行の運びとなりました。ご家族団らんの一コマにお宝満載の地域の話題が登場する：会報がそんな役割を担えたらと願って已みません。身近な話題がありましたら、提供いただければ幸いです。

和地域づくりの会・広報委員一同  
☎ 6210201



田中会長から和小学校4年生に地域づくりの会の活動についてお話し(12月)



◎子どもたちの夢と希望を叶える催し  
《魚つかみ&キャンドル作り&書き初め》  
7月30日、おやじの会・和小平T A  
の皆さんとの共催のもと、せせらぎ水  
路で魚つかみ取り大会が行われ、昼食  
には流しそうめんが振る舞われ、楽し  
いひと時を過ごしました。(写真①)

暮れの12月17日、公民館活動推進員  
さんを講師に4年ぶりにふれあい講座  
が行われ、参加者みんなでクリスマスマ  
スに向けたキャンドルとデコレーション  
を作りました。(写真②)

年明け、新春を迎えた1月4日、生  
涯学習講座『書道入門』の高橋麦宇先



生を講師に新春書き初め大会が開催さ  
れ、和小学校の26名が課題の文字に挑  
戦しました。(写真③)

今回は、初めて参加者全員の力作を  
コミュニティセンター玄関に掲出し  
ました。(写真④)

# 地域づくりニュース

各部会等の話題を追って



## ふれあい文化祭 Part II



# 和地区分館長会

会長 関 恭司

◎令和5年の振り返り

新型コロナウイルスの5類移行に伴  
い、ここ数年間滞っていた各種事業イ  
ベントが復活した、従前回帰の一年で  
した。

7月2日に開催された【分館球技大  
会】は4年ぶりの開催となり、ソフト  
ボール・ビーチボール・マレットゴル  
フ・ゲートボールの4競技にそれぞれ  
覇を競いました。勝敗に関係なく、久々  
に分館内での交流も図られました。

11月11・12日の二日間、コミュニ  
ティーセンターを会場に23回目を数え  
る【ふれあい文化祭】が開催され、恒  
例の作品展示（生涯学習講座・分館・  
地域・保育園児・小学校児童）のほか、  
今年も併設の「竹内不忘展」や和学校  
記念館の特別開放、チャレンジコー  
ナーが行われました。更に、昨年は叶  
わなかったステージ発表や飲食を伴う  
出店（綿あめ・野点・そば）は行列が  
できる賑わいを見せ、ご来場された多  
くの皆様にご堪能して戴けたものと確  
信しております。

この一年間、ご協力を賜りました分  
館長各位並びに関係された皆様方に、  
改めて感謝とお礼を申し上げます。

# ふれあい文化祭



## ステージ発表



太極拳 (講座: 矢野先生)



コーラス (講座: 成澤先生)



マンドリン (講座: 成澤先生)



パドル健康体操 (講座: 野原先生)



長唄・三味線 (文化協会・音和会)